

今年も夏ポラが始まります!!

夏体験ボランティア2011

国立市ボランティアセンターでは例年、中学生以上30歳位までの方を対象に、施設、ボランティア・市民活動グループ、NPO法人での活動を通じて、ボランティア・市民活動への理解を深め、今後の活動のきっかけとなる機会を提供することを目的とした体験ボランティアを開催しています。活動は様々な分野があり、興味のある活動を選び、体験することができます。たくさんの体験と、色々な人に出会うチャンスです！昨年は90名を超える参加者が様々な活動を通じて、自分に出来ること、地域に参加することなど考える機会となったようです。ぜひ、今年はあなたも体験してみませんか？

活動してみたい方は、事前オリエンテーションの参加が必要です。まずはボランティアセンターへ電話して!!

～☆事前オリエンテーション☆～

日時: 7月 9日(土) 10:00～11:30
7月15日(金) 18:30～20:00
7月25日(月) 18:30～20:00
7月29日(金) 15:00～16:30

※ いずれか1日、希望の参加日をお伝えください。

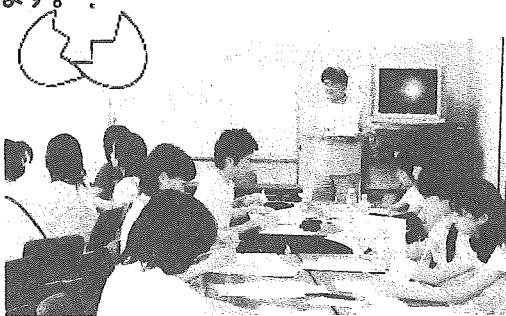
場所: <にたち福祉会館 3階 中会議室
参加費: 500円(資料代・保険代など/消費税込み)

※当日、お釣りのないようにお持ち下さい。

申込み: 6月20日(月)～7月28日(木)平日9時～17時

申込方法: 必ず活動希望者本人が電話またはメールで締切り: 各オリエンテーションの前日 17時までに申込み下さい

※活動先は、高齢者施設、障害者施設、保育園、など例年35箇所程度の活動場所から興味のある活動を選んで活動出来ます。



「RABBIT」入手可能場所('11年4月現在)
* 枠で囲んである場所では、掲示板などにボランティア募集情報を掲示しています

(北地区) **北市民プラザ**・国立北郵便局・北福祉館。
(東地区) 国立旭通り郵便局・国立床屋・東福祉館
松浦歯科医院・ギャラリーレストラン北川・石川クリニック
大和証券国立支店。

(中地区) 多摩信用金庫国立支店・**国立市公民館**
喫茶わいがや。

(西地区) 国立西郵便局・つぶらや・西福祉館。

(富士見台地区) **<にたち中央図書館**・**国立郵便局**
YMCA国際医療福祉専門学校・**<にたち福祉会館**
国立市役所・富士見台調剤薬局・ピエトロバルコネ。

(谷保地区) 高柳商店・東京みどり農業協同組合国立支店・肉の万世矢川駅前店・ジョナサン矢川駅前店・タイヤ館国立・国立谷保郵便局・<にたち郷土文化館・理容室エンゼル。

(泉地区) **南市民プラザ** 計 32ヶ所
「RABBIT」を置かせて頂ける場所を募集しています。

編集・発行

(社福) 国立市社会福祉協議会
国立市ボランティアセンター

〒186-8555 国立市富士見台2-38-5

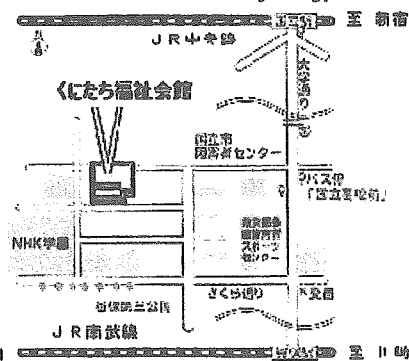
<にたち福祉会館1階

tel. 042-575-3223

fax. 042-580-7112

E-mail. KFH01416@nifty.ne.jp

至 立川



至 立川

至 川崎

ボランティアセンター通信

～らびっと～

RABBIT



VOL.73 '11年6月 & 7月号

(偶数月発行)

- ・ボランティア入門講座の案内
- ・東北地方太平洋沖地震について
- ・夏ポラが始まります!

☆ ホームページもご覧ください!

国立市ボランティアセンター

検索

ボランティア入門講座

どなたでも気軽に参加していただける講座です。

日時:6月24日(金) 14:00~16:00

7月21日(木) 14:00~16:00

8月2日(火) 14:00~16:00

場所:くにたち福祉会館(富士見台2-38-5)

内容:「ボランティアって何?」/講義

「車椅子介助体験をしてみよう」/実技

「手話ってどんなもの?」/実技

「ボランティアセンターから」/活動紹介など

申込み:国立市ボランティアセンターへ

TEL 042-575-3223

*受講費無料。内容は毎回同じですので、ご都合の良い日にどうぞ。(毎月1回開催)

前日17時までに電話でお申し込み下さい。

東北地方太平洋沖地震への 様々な支援の形...

震災直後からボランティアセンターには、様々な被災地支援のお問い合わせのお電話がたくさんかかってきています。

義援金、寄付品、市内で出来る活動、現地での活動など内容は様々でしたが、どのお電話も被災地を思う気持ちがあふれていました。そして毎日のように窓口には、「明日から宮城に行きます」「週末に石巻へ行きます」とボランティア保険を掛ける方が訪れます。

ただ支援したい気持ちはあっても、現地に行くことは難しい方はたくさんいらっしゃると思います。そんな中で、こんな素敵な支援に出会いました。

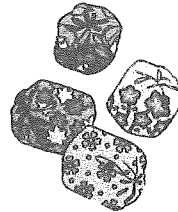
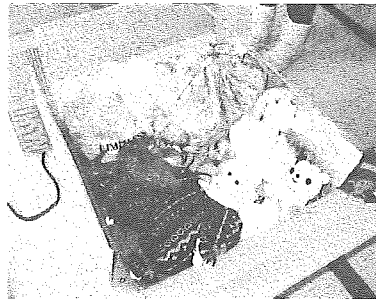
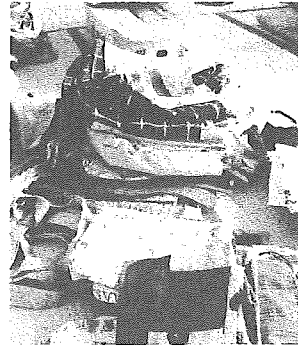
～手づくりボランティアグループ～

市内には6つの手作りボランティアのグループ(あやめ会、八千草会、ひまわり会、かえでグループ、西活動日、北はなみずき)があります。

日頃は市民の皆さまにご寄付頂いた、毛糸や布などの材料を使って、エプロンやセーターなどを作製し、福祉会館のショーケースや福祉バザーで販売し、その売り上げを社会

福祉協議会に寄付しているグループです。

今回手作りグループのことを聞いた方が、「知り合いの先生のいる被災地の気仙沼の松岩小学校に手作りのかばんやお手玉を送りたい」とグループへ相談を受け、その要望に答え、たくさんの手作りの手提げ袋、エプロン、ぬいぐるみ等送りました。



皆さんの温かい気持ちが生徒さんの手元に届き、とても喜んでいただけたようです。

～チャリティー茶会～

平成23年5月30日、「まごころ市」主催の東日本大震災復興支援チャリティー茶会に行ってきました。

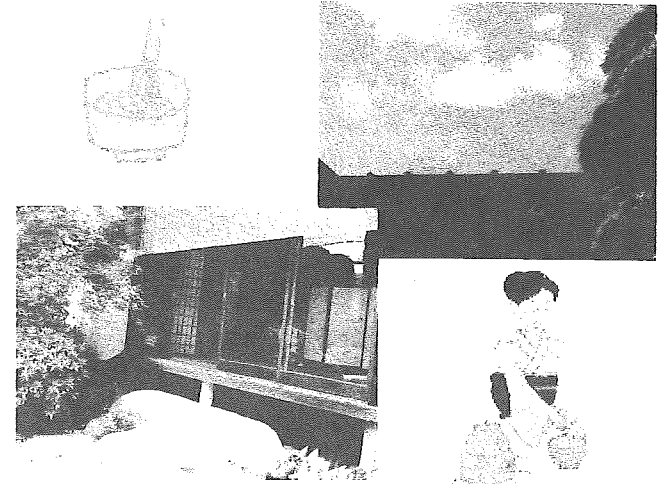
この茶会の発案者の子育て中の若いお母さん方は、今回の震災の連日の報道で、同じ子育て世代の母親たちの苦勞されている様子や、子ども達の様子を目の当たりにし、遠くに住む自分達に出来る支援はないかと立ちあがったそうです。

そして、小堀遠州流の新井先生をはじめ、会場となった料亭「夏の家」、和菓子店「一真庵」、人間国宝故三浦小平二氏夫人であるママの森幼稚園園長先生のご協力を得て、ママの森幼稚園の茶道同好会の方々が準備をされたそうです。

1500円の子チケット代のうち1000円が義援金になるとのことだったので、早速チケットを求め当日を楽しみにしてい

ました。

当日は朝からの雨も上がり抜けるような気持ちのよい天気の中、たくさんの方が会場を訪れていらっしゃいました。主催されている方、参加されている方、皆さんの優しい気持ちが表れるような素敵な時間を過ごすことができました。



今回ご紹介した支援活動も決して1人の力で出来るものではなく地域での様々なつながりがあったからこそだったと思います。日頃からの地域での住民同士の支え合いやボランティア活動、様々な団体間でのつながりが重要だとあらためて考えさせられました。

また「被災地の為に何かしたい」と思う多くの方がいましたが、実際に現地に赴いての支援は難しい状況の方もたくさんいました。被災地の外から出来る支援も、色々な形であることに気づかされました。

たとえば身近で出来るこんな事...

☆災地の名産品などを率先して購入する経済的に被災地を支える事が出来ます。

☆個人やグループで集めたベルマークを「大震災寄贈マーク」と封筒に書いて、ベルマーク財団に送ると被災地の学校を支援する事が出来ます。

<http://bit.ly/ggQWzK>

まだまだ復旧・復興に向けて、長期にわたる支援が必要と考えられます。一時的な支援でなく、あせらず、無理をせず、自分達に出来ることで、息の長い支援をしていけたらと思います。